



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和7年1月16日（木） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
防災課	防災企画係	鈴木	内線 2838 直通 058-272-8189 FAX 058-278-2522

## （特非）ボランティア・アーキテクト・ネットワークとの 災害時における物資供給に関する協定の締結について

県は、特定非営利活動法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークとの間において、県内での災害発生時等に「避難所用間仕切りシステム」等の供給に関する協定を締結するため、下記のとおり協定締結式を行いますので、お知らせします。

### 記

#### 1 日時

令和7年1月23日（木） 午前10時45分～午前11時00分

#### 2 場所

岐阜県庁6階 第一応接室

#### 3 協定締結者

坂 茂<sup>ばん しげる</sup> 特定非営利活動法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク 代表理事  
古田 肇 岐阜県知事

#### 4 協定の概要

##### （1）名称

災害時における避難所用間仕切りシステム等の供給に関する協定書

##### （2）協定の内容

- ・災害時、県からの要請に対し、ボランティア・アーキテクト・ネットワークが指定の場所に避難所用間仕切りシステム等の物資を運搬
- ・可能な範囲で、物資の組立て等を指導できる者を派遣

##### （3）対象品目

- ・避難所用間仕切りシステム
- ・ダンボール製簡易ベッド

<参考：特定非営利活動法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークについて>

○目的

国内外の大規模災害時において、被災者への住環境に対する支援事業を行うほか、防災訓練を通じた防災・減災意識の啓発に関する事業を行い、震災被害からの円滑な復旧・復興、及び災害時に発生し得る被害の最小化に寄与する。

○所在地

東京都世田谷区

○代表

代表理事 坂 茂

○事業

- ・災害復興に関わる建築物の設計監理
- ・被災地のまちづくりにおいて、自治体と住民の間に入り円滑な復興を促す中間支援
- ・避難所用間仕切りシステムの開発及び普及
- ・応急仮設住宅の改善
- ・防災、減災に関する普及啓発

<参考：避難所用間仕切りシステムについて>

- ・NPO 法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークが開発した、紙管をフレームとして用い、布を掛けた間仕切り。
- ・2 m × 2 m × 2 mの空間を連結させて活用でき、拡張性が高い。
- ・東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などで活用実績あり。



(避難所における活用例)

<参考：坂茂氏について>

- ・建築家、芝浦工業大学特別招聘教授、株式会社坂茂建築設計代表
- ・主な受賞歴  
プリツカー建築賞、紫綬褒章、高松宮殿下記念世界文化賞 建築部門、  
第12回円空賞  
(1月24日から始まる第12回円空大賞展(岐阜県美術館)において作品展示)